

北海通札
愧
其辰科大學
八白三郎叔
台
張





大阪市西區南坂江道一

勝存忠兵衛

四月廿四日

昨年より多分徳留ふおきて
帰るも日夜は御願
目由果たつては正白御願の
表の通りは御願
本物と云は申す何の事
は申すもは御願

本に取去るより、田果御司

二本の送付はと云はね

文のるはし、新の御願

は、御願の御願

一人年、おと、し山、御願の

おの御願、御願、御願

おの御願、御願、御願

御願、御願、御願

御願、御願、御願

御願、御願、御願

御願、御願、御願

文々多々居し新の形端
仕、實相の心介しし
一人年々老いし山奥強の
か、向情、中、此、年、此
心、此、一、切、ハ、此、用、此、
觀、經、式、平、事、可、り、也
近、と、あ、せ、し、の、日、と、あ、せ
此、申、小、先、と、右、禮、奉
申、此、是、何、の、也、山、徳
詳、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ
四月五日、
時、本、生
八田、光、之、行、矣